

SERVE TO
CHANGE LIVES



奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

Rotary  国際ロータリー
第2570地区
2021~2022年度

2021~2022年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ
2021~2022年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー 水村雅啓
地区スローガン **もっと夢をもっと奉仕を**

会 長	金井福則	副 会 長	織田裕之
会長エレクト	佐藤賀則		須永秀和
幹 事	相川浩一		永井保之

2022年
1月27日(木)

第4例会 第2800回 No.59-22

本庄ロータリークラブ週報

クラブテーマ MORE INTEGRITY ~より一層の高潔性を~

会長の時間

職業奉仕月間

1

皆さん今晚は、12月クリスマス例会でアメリカを一周したお話をしましたら、ある会員から今度はフランスの話のリクエストされました。本日は、フランス・パリからモナコ王国まで走った話しをします。

毎年、1月下旬に旧車モンテカルロラリーが開催されます。ここ何年かは、コロナ禍で中止となっていますが、今から10年くらい前に練馬の整形外科の先生が50年前、赤と黒の日産フェアレディZのラリーカー仕様で参戦、収録の依頼があり仕事として同行、5日間で3,000kmを走りました。このラリーに日本から、ドライバー、ナビゲーター、メカニック4名、総勢10名参加、タイヤは24本から使用、日本から車両等の輸送など1,500万から掛かるそうです。

なぜフランスは、ラリーレース等が盛んかと言うと、ほとんど道に信号機がないからです。交差点はぐるりと一周廻れるようになっており、車は左廻りで入り、向かう方向に出て行く、信号機が無いから本当に無駄なく走れるからです。

さて、旧車モンテカルロラリーですが、世界中から車好きな人たちが、運転技術と当時の名車で参戦します。参加は70台ぐらいで、なんと参戦される車の中には、ポルシェ904まで出ています。ポルシェ904とは、昭和39年第2回鈴鹿グランプリに出場し、スカイライン54Bとのデットヒート、今ではプレミア、1億円以上の値段がついているほどです。その車が雪の上を平気と全開で走るのを見た時に、「金持ちとはこのような人達のことを言うのか」と感じました。パリから2,000km走行で、フランスの東海岸に着きます。暖かくリゾート地でもあります。マルセイユは、マフィアの町でちょっと怖い町です。渋沢栄一達がアフリカからフランス行った時に船で着いた港町です。そこから100km西に走ると国際映画祭で有名なカンヌ。また100km西にはニースがあり、ニースは本当に暖かくて最高のリゾート地です。そこから50kmでモナコ王国です。人口3万8千人世界で2番目に小



金井福則 会長

さい国です。ただ宿泊料金は高いです。

ラリーですが最後は、モナコを拠点にアルプス山脈を走行して終わります。参加ドライバーは、60歳以上で70歳以上的人也多く参加されています。なぜ彼らは多額のお金を掛けて参加されるのかと言うと、若くいたいからです。普段日常生活で生命の極限に追い込まれることはないからです。この5日間3,000kmをマニュアル車で、ダブルクラッチ、ヒール&ツーで走行、体力、神経、睡眠不足等を極限まで追い込んで、自分の体の細胞を刺激されることで若さが得られるのです。お金持ちの人達は、若くいる方法を知っているのです。

幹事報告

本日の幹事報告はありません。

